

全8回シリーズ：第2回



社会課題解決のための報道手法 研究会

権力監視の一步先へ 課題解決への道は？

能登半島地震での避難所の検証、再開発ビルの不良工事の特報などを題材に課題解決型報道の実践可能性について現場記者の視点からお話しいたします。

日時 2026年6月17日(水) 15:00～16:30 (受付 14:30～)

場所 日本財団ビル 2階 大会議室 (ウェビナー配信あり)

参加対象 報道関係者限定 ※無料 (事前申込制)



講師

赤田 康和 氏

朝日新聞社 大阪社会部 記者

ご経歴

文化部次長、東京社会部などを経て現職。著作権問題、メディア規制などを継続的に取材。大阪社会部では能登半島地震での復興政策を取材。静岡朝日テレビ、秋田朝日放送での番組制作経験も持つ。

▼お申し込みはこちら



<https://forms.gle/htEpWM7Veqj7MiGz6>

申込締切：6月16日(火)17時